

目的とねらい

漢字の成り立ちから始まり、さまざまな要素を学んでいきたいと思います。今年度は資料をワークシート形式にして、耳も口も手も、そして時には体も動かしながら、五感で漢字を学ぶ方法をとっていきます。

会場

河原町学舎

定員

50名

受講料

10,000円

講師

久保 裕之（漢字教育士）
立命館大学白川記念東洋文化研究所（文化事業担当）

日程

全8回 第2木曜日
10:00～12:00



（日程等は一部変更になる場合があります）

①	漢字の歴史 「古代文字練習シート」を書きながら、漢字の起源と文字の形の移り変わりを学びます。	4/13（木）
②	漢字の字形と部首 部首の数が減った理由や、部首の性格、ある漢字がこの部首に所属する理由を学びます。	5/11（木）
③	音読みと訓読み 音読みと訓読みのたどってきた「なんでもあり」の歴史をたどります。	6/8（木）
④	動植物の漢字 動植物名を表す漢字には、古代人の知恵が込められています。	7/13（木）
⑤	季節を表す漢字 春夏秋冬を表す漢字をたどりながら、中国人や日本人の感性に思いをはせます。	9/14（木）
⑥	順番の漢字 順番、方位、年月…さまざまな場面に使われる、順番を表す漢字を学びます。	10/12（木）
⑦	名乗りの漢字 「和（かず）」「朝（とも）」など伝統的な読み方から「キラキラネーム」まで、名乗りの漢字について考えます。	11/9（木）
⑧	やたら難しい漢字 最近流行の「ピャンピャン麺」など画数の多い字や、ユニークな形の字、限られた地域・業界で使われる字など、珍しい漢字のオンパレードです。	12/14（木）